

「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	蔵持公民館
開催日	9月27日（土）	開催時間	14：00～15：15 （1時間15分）
参加者数	約15名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【14：00】

2．あいさつ

- ・ 地区区長幹事
- ・ 市長【14：03～14：15】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

- ・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【14：15～14：45】

- ・ 質疑【14：45～15：15】

Q（参加者）今後、（基本構想を）どうやって実施するのか、具体的な計画について、知りたい。

地域の自立と称して、地域に仕事を押し付けているようにも感じる。

一番の問題は、人をどうするのかということである。

公民館主事の引き揚げは、考え方が違うように思う。市民には潜在的な能力があっても、意欲がないので引き出す工夫が必要である。むしろ、公民館の人員を増強して、市役所の人員を減らすべきである。

退職した有能な人材を安い賃金で、使うしくみを考えなければならない。若者を引っ張り込むのが難しいので、リタイヤした人を地域の活動に引き入れるしくみを盛り込んで欲しい。

A（市長）財政の健全化については、極端な税収の減少が要因となっているが、これは新興住宅地を持つ自治体の宿命であると思っています。流入によって、人口が増えたおかげで、病院などの社会基盤整備を行うことができました。大勢の方が同じタイミングで、リタイヤされるので、今までのような行政運営では立ち行かないようになっていきます。財政健全化による取り組みをしているところであり、中期財政見通しについても公表していくなかで、あれかこれかの選択をして確実にこなしていきたいと思っています。

地域予算制度は、「自分たちのまちを自分たちでつくろう」というのを市がどのようにサポートするのかを実現化するもので、地域に出していた補助金等を整理すること

で、4千5百万円を5千万円に増額しました。この地域交付金の使途については、地域で優先順位を決めて、自己決定・自己責任ですすめていただきたいと思います。地域への押し付けと、とられるのは致し方ないところもありますが、住民自治の意識がより醸成されてくれば理解されるでしょうし、有効に事業展開が図られると考えています。限られた財源で住民満足を上げるには、これしかないと考えています。

地域づくりの基地となるのが公民館であり、公民館の民間委託で手を挙げていただく地区については、公民館に管理に係る経費をそのままお渡しします。主事を一人引き揚げさせてもらうについては、300万円をお渡ししますので、地域で公民館の運営をお手伝いいただける方がいるのであれば、お願いしたらよいのではないかと考えています。上野市では、ほとんど市職員のOBがその職に就いています。しかしながら、名張市は、地域経営に携わってもらえる人材が豊富なので、私はそういった方を募集して、お手伝いしてもらえないかと思っています。まちづくりにおいて、それぞれの分野において専門家が一杯いるので、そういった方にまちづくりに参画いただければと考えています。桔梗が丘地区では、そういった取り組みが進められています。

Q（参加者）区長のなり手がなく、意欲の希薄な地区もあるので、総合計画に市民参加・協働の精神を具体的なしくみを織り込まなければならない。

A（市長）他地区のやり方、桔梗が丘地区を参考してもらってどうかと思います。

市においても、市民活動支援センターを立ち上げて、市と市民団体の連携・協働の窓口にしたいと思っています。

地域で公民館の運営を受託いただけるのであれば、公民館を弾力的に運用できるようにしたいと考えています。

Q（参加者）総合計画の基本構想に防災の観点に触れていない気がする。

A（市長）安全で安心の生活というのは、最も基本となるところですので、ここで盛り込んでいきたいと考えていますし、書かせていただいています。この部分については、即時対応できるようにしなければと思っていますので、今年度より、危機管理室を設けて、即時対応できる体制になっています。

A（総合企画室長）素案では、13頁の「安全で安心な地域づくり」のなかで反映しています。安全と安心を縦割りで考えるのではなく、防災・防犯等と総合的にとらえることが重要であると考えています。

具体的な取り組みについては、基本計画で明らかにしていきたいと思っています。

Q（参加者）5、6頁の図面が見にくい。蔵持地区はどのような土地利用になっているのか。

A（総合企画室長）平成10年度に策定した土地利用マスタープランと整合させています。

人口増加に伴う都市基盤が未整備なので、現在、中央西土地区画整理事業などを進めているところです。中心市街地の都市機能を図るなかで、丘陵地にある住宅地との

連携を強化しながら、連携型の都市構造を形成していこうというものです。

蔵持地区に限りますと、中心市街地との連携・区画整理事業との連携・桔梗が丘地区との連携を意識しながら、交通の結節点として、連携の核となる地区であると考えています。あるいは、恵まれた田園とか名張川左岸の環境を生かしながら、連携の核としての機能向上を図っていく、そういう目的で「ふれあいスポーツプラザ」や交流のための施設整備を計画的に進めていきたいというところです。

田園環境につきましても、都市住民との交流ということにも視点を置きながら、新しい農業展開をすすめてはどうかという提案をしています。

A（部長）今日で12箇所目となりますが、これまで、毎日、大阪へ通勤されていて定年を迎えた方が地域活動をしたいというご意見を2~3名の方からいただきました。このようなお考えを持つ方は名張の資源であり、こうした方に知識をいかに発揮していただくか、発揮いただく場所を考えるのが我々の使命であると考えています。今後も、色々のご提案をよろしく申し上げます。

5．閉会

パブリックコメントで、ご意見をお寄せいただきまようによろしく申し上げます。（司会）